学習情報紙６月号

東部いれこみ情報

NO.２８５　２０２５年（令和７年）６月１日

発行　東部地域振興課

住所　〒７２１－０９１５　福山市伊勢丘６－６－１

電話　０８４－９４０－２５７４　　FAX ０８４－９４７－５６５８

1. 遊歩一景
福山市のオアシス　春日池公園で　菖蒲と紫陽花鑑賞
　春日池公園には、池の一部を埋め立てて造った湿地にショウブ園があります。ショウブは1975年に明治神宮から35品種350本の株分けを受けたものが始まりで、現在は約80種5万株が植えられています。園内には、木製の回廊が作られており間近でショウブの花を楽しむことができます。また、ビオトープがあり多様な生き物が生息しています。
　ショウブ園には、アジサイも約１２０株植樹されています。見ごろは、どちらも６月中旬なので同時に楽しむことができます。
　春日池公園は、他にも桜やラクウショウ、ばらやニセアカシアなどがエリアを分けて植樹されており、季節の花を楽しむことができます。
2. Toutube/トーチューブ
	1. テーマ　小学校で邦楽を奏でてみた
	2. 内容
	　東部地域振興課では、生涯学習の成果などを発表する機会の一つとしてYouTubeの　チャンネルを開設しています。
	　今回は、東部地域で活動中の『邦楽同好会』のお二人の登場です。曲は、『やまびこ』で尺八の二重奏です。山々に響きわたるこだまをテーマにしており、自然との対話を描くように、二本の尺八が響き合いながら展開していきます。
	3. 公開日　６月７日（土曜日）９時から
	4. 詳細
		1. 動画サイト　YouTube
		2. チャンネル　TouTube.F
		3. 問い合せ先 東部地域振興課
			1. 電話：084-940-2574
			2. FAX：084-947-5658
			3. メール：toubu₋chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
3. 桜坂ギャラリー企画展
	1. テーマ　「大雨にそなえて　」～災害に強いまちづくり～
	2. 内容
	　これからの季節は、大雨による河川の氾濫や土砂災害など、災害が発生しやすい時期です。気象情報の入手方法や安全な避難方法を確認するとともに、非常時持ち出し品の準備やハザードマップを確認するなど、日頃から災害への備えをしておきましょう。
	3. 期間　６月２３日（月曜日）から７月３１日（木曜日）まで
	4. 場所　東部市民センター２階　ロビー
	5. 主催・問い合せ先　東部地域振興課
		1. 電話 ０８４－９４０－２５７４
		2. FAX ０８４－９４７－５６５８
4. 地域をつなぐまちづくり紹介
引野ローズパーティーが開催されました！
　５月２４日に引野交流館で引野ローズパーティーが開催されました。このローズパーティーは、こどもから高齢者まで地域の方の世代間交流の場として、毎年５月に開催しています。
 会議室では、大正琴サークル『のんのん』の皆さんの演奏や、交流館長が参加しているバンド『トリオファニーズ』の皆さんの演奏、『長浜浜っ子太鼓』と一ツ橋中学校の『一中太鼓』の合同による演奏や、福山医療専門学校の皆さんによるダンスで、会場は大いに盛り上がりました。また、この度初めて参加された、福山ろうあ協会の皆さんによる「手話で遊ぼう」では、会場のこどもたちが、楽しく手話でコミュニケーションをとっていました。そして、駐車場では地域の方による焼き芋やカレー、ポップコーンなどの販売が行われ、大盛況につき、すべての商品が完売となりました。
 今回、ローズパーティーは雨天の日の開催となりましたが、多くの方が参加され、地域の方のつながりをより感じられる会となりました。
5. 一ツ橋中学校　ホロコースト記念館で平和ガイド
　５月２０日に、御幸町のホロコースト記念館で一ツ橋中学校の生徒１０人が平和ガイド活動を行いました。これは、世界バラ会議福山大会の催しの一つとして市内を巡るバスツアーの参加者に行ったものです。
　この日は、アメリカ、インド、オーストラリア、中国、日本などから約４０人が記念館を訪れました。
　持ち場となった「アンネの部屋」「アンネの展示」「杉原千畝の展示」の部屋に入ると、担当の生徒が英語と日本語でガイドを行いました。ガイドの中で、「アンネは、自分と同じ１４歳で亡くなりました。ホロコーストや戦争は絶対にあってはいけません。」「杉原千畝は自分の命も危険の中、ユダヤ人を助けようと決意し行動しました。その姿勢に学びたいです。」など、それぞれの感想や意見を話しました。
　参加者からは「今していることを続けてください。伝え続けることが大切です。」と、メッセージとお礼がありました。
　この日は、幸千中学校の生徒もガイド活動を行い、「アンネのバラ」が咲く庭の花壇などを担当しました。
6. 東部管内イベント・講座情報
	1. 緑丘交流館からのお知らせ
	発酵料理教室「塩こうじを作ってみよう！」
		1. 日時　６月３日（火曜日）１０時～１３時
		2. 会場　緑丘交流館　実習室
		3. 講師　虫明房枝さん（発酵料理教室　Tokibaco）
		4. 内容　「こうじ」について学び、塩こうじを作ります。
		　　　（作った塩こうじは持ち帰ります）
		5. 定員　１５人
		6. 材料費　1,000円（持ち帰り用の容器代込）
		7. 持参物　エプロン・マスク・三角巾・ふきん手拭きタオル・筆記用具
		8. 申し込み・問い合わせ先　緑丘交流館
		電話　084-943-5495
	2. 伊勢丘交流館からのお知らせ
	講座　地域で支えるこどもの未来「こども食堂ってどんなところ？」を開催します。
		1. 日時　6月19日（木曜日）10時から12時
		2. 会場　伊勢丘交流館　実習室
		3. 講師　渡邊葉子さん（こども食堂ごっこ代表）
		4. 内容　地域における「こども食堂」の役割って？
		 韓国おにぎり「チュモッパ」とカンタンおかずを作ります
		5. 対象者　こどもから成人一般（どなたでも）
		6. 定員　16人
		7. 材料費　300円
		8. 持参物　エプロン・ふきん・ハンドタオル・
		9. 飲み物・筆記用具
		10. 申し込み・問い合わせ先　伊勢丘交流館
		電話　084-947-0511
	3. 春日コミュニティ館からのお知らせ
		1. ミュージック・ケアと子育て個別相談を開催します
			1. 日時　６月６日（金曜日）１０時から１１時３０分
			2. 会場　春日コミュニティ館
			3. 講師　北川宜子さん（音楽療法士）
			4. 内容　こどもと一緒に楽しめる音楽療法
			5. 対象者　就学前の親子
			6. 定員　個別相談のみ３組（要予約）
			7. 持参物　飲み物・タオル・着替え（必要な場合）
		2. 「『かすがサロン』ホウ酸だんごづくり」　を開催します
			1. 日時　６月２７日（金曜日）10時から１１時３０分
			2. 会場　春日コミュニティ館
			3. 定員　10人
			4. 持参物　エプロン・三角巾・ふきん・マスク
			5. 材料費　300円
		3. 申し込み・問い合わせ先　いずれも春日コミュニティ館
		電話　084-943-2531
	4. 春日交流館からのお知らせ
		1. フレイル予防講座を開催します
			1. テーマ　あなたの歩き方をAIで分析してみませんか？
			2. 日時　６月１９日（木曜日）　９時３０分から１１時３０分
			3. 会場　春日交流館　会議室
			4. 講師　熊原　啓さん（（株）ケアデザイン）
			5. 内容　歩き方をAIで分析、自分に合った運動を知る、正しい歩き方と
			 自分に合った靴選びをします。
			6. 定員　１５人程度
			7. 持参物　筆記用具、飲み物、スリッパ（スリッパが不安定な方は室内履きの履物）
			8. 申し込み・問い合せ先　春日交流館
			電話　０８４－９４７－４４９１
	5. 東部図書館からのお知らせ
		1. サロンコンサートを開催します
			1. 日時　6月24日（火曜日）１４時から１４時３０分
			2. 場所　東部市民センター　１階サロン
			3. 内容　大正琴の演奏
			4. 出演　大正琴琴成流　ののはま
		2. 東部図書館開館25周年記念展示を開催しま
			1. テーマ　「みなさまに愛されて 東部図書館25周年」
			2. 期間　6月18日（水）～7月31日（木）
			3. 場所　東部図書館　1階フロア
			4. 内容　東部地域の航空写真や東部図書館に来館された作家の紹介。
			 開館した年の2000年の出来事、話題になった本などの紹介
		3. 問い合わせ先・申し込み　いずれも東部図書館
		電話　084-940-2575
7. 「特集インターネットと人権」について考える　その３
	1. ２人に１人が、にせ情報や誤った情報を信じ、４人に１人が情報を拡散
	　総務省が１５歳以上を対象に実施した「ＩＣＴリテラシー実態調査」によると「誤った情報」でも「正しい情報だと思う」、「おそらく正しい情報だと思う」と答えた人が４７．７％であることが分かりました。また、偽・誤情報に接した人のうち２５．５％の人が、何らかの手段を用いて情報を拡散していました。
	　拡散した理由については２７.１％の人が「情報が驚きの内容だったため」と回答しています。偽・誤情報を拡散した手段として「家族や友人など周囲の人へ対面での会話」「家族や友人など周囲の人へメールやメッセージアプリ」となっており身近な人に伝えることが多かったようです。
	　その他は、不特定多数にインターネットを用いて拡散した人が４４．４％という高い比率になっています。一度拡散した情報は、誤った情報でも止めることはできません。
	　これらのことから、情報の拡散や、書き込みについては、その情報が正しいのか、書き込みに対して誰かを傷つけることはないのかを冷静に判断することが大切です。
	　今回の調査で、今後、ますますＩＣＴリテラシー（情報通信技術を正しく適切に利用活用できる能力）の向上が必要なことがわかりました。
	2. インターネットは、私たちの暮らしになくてはならない存在です。一方で悪意の書き込み、財産権を侵す詐欺行為、社会をまどわす偽情報など、人権犯罪に悪用されるケースが後を絶ちません。そこで、人権を守る手段や使い方について、考え合いたいと思います。
8. 多文化共生社会って？
多文化共生とは？
　スーパーのレジで外国の人が前に並んでいたり、まちかどで自転車に乗った外国の人を見かけたりする機会が増えていませんか？
　現在、福山市には約1万2千人の外国の人が暮らしており、毎年その数は増え続けています。多文化共生とは、『国籍や文化の異なる人々がお互いの違いを認め合い、地域社会の一員として、ともに生活できるまちづくりをめざす』ことです。
　国籍に関係なく外国の人も地域をつくる一員として、お互いを支えあう「まちづくり」に必要な存在です。身近な場面で外国の人と関わるボランティア活動や行事に参加するなど、まちづくりのために何ができるかを考えてみませんか。
9. 桜のささやき
　風薫る五月、国内外から、ばらの愛好家や研究者が集まる「世界バラ会議福山大会」が盛大に開催されました。福山市では初となる大規模な国際会議に、世界２８の国や地域から多くの方が参加され、最新の栽培技術を学ぶ講義やばら花壇を巡るツアーなどが行われました。
　また、関連行事として開催されたローズエキスポや毎年恒例の福山ばら祭も例年以上の盛り上がりをみせ、「ばらのまち福山」を国内外に発信しました。
　２０１６年に「１００万本のばらのまち」を達成して以来、今や市内各地の公園や沿道の花壇はもとより、各家庭の庭先にも咲き誇るばらを見ることができます。
　４月に幸千中学校生徒の手により植樹された東部市民センターの「アンネのバラ」も、さっそく鮮やかなオレンジ色の大輪を咲かせ、カメラに収める来庁者の姿も見られました。
　私たち福山市民の心に「ローズマインド」（思いやり・優しさ・助け合いの心）の精神が育まれていることを実感するとともに、さらに次世代へもつなげていきたいですね。

　視覚障がい等の理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。
以上